

## 四天王寺和らぎ苑

在宅支援サービスの本格稼働により、和らぎ苑は入所中心の施設から地域の医療福祉拠点として大きな一歩を歩み出しました。入所児者の重度化に伴い医療的ケアの必要性が増したことに対応するための医療的環境整備を行い、生活支援施設の機能を向上するための設備改善を行いました。

積年の課題であった看護師の確保定着が実現し、10対1入院基本料に2階フロアも移行しました。インターネットを使った研修システムを導入や評価面談の場を使って人材育成に取り組みました。富田林苑との連携し、在宅支援事業向陽が活動を本格的に始めることになりました。

### ～事業活動報告～

#### (1) 各サービス提供の稼働報告

施設入所は97名で始まり、3名死亡退所、4名新規入所、稼働率97.8%、目標達成率99.8%でした。短期入所は延べ1,440名が利用され、目的達成率110.3%。通所事業は重心の児童発達支援を新たに始め、利用児者延べ3096名（昨年度実績比493名増）の利用がありましたが目的達成率は68.3%となりました。外来診療は延べ12259名の利用があり、療法や歯科診療も伸び、目的達成率は104.5%でした。新たに開設した訪問看護は延べ408名にサービス提供を行いました。

#### (2) 人材の確保と育成

看護師の確保や療法士の増員は一定の成果を見ましたが、薬剤師の補充が達成できませんでした。研修はeランニングシステムを導入し、時間に拘束されず、いつでも受講できるようにしました。

#### (3) 安全対策と危機管理

衛生委員会は各部署のメンタルヘルスや腰痛の状況把握に努めました。医療安全委員会は、アクシデントの分析を大阪府や保健所の監査、法人の苦情解決委員会への報告の整合性が取れる内容に改訂しました。感染症対では初期の段階で対応し、拡大防止に努めました。災害対策では、マニュアルを一新し、それによる避難訓練を実施しました。今後は富田林苑も含めた対応が求められます。

#### (4) 第一次大規模補修修繕と設備整備の報告

和らぎ苑長期補修計画に基づく、第一次補修修繕は、1階の空調設備の入替、玄関前の道路整備を残し一応は完了しました。医療的環境整備とし、歯科治療環境の整備、エコーや脳波計、透視X線の入替。人工呼吸器の増設等に取り組みました。生活支援施設の機能向上のために、ミスト浴や室内リフトを導入しました。新規事業の児童発達支援や訪問看護の初期投資も行いました。

今後、障害児者の在宅支援の医療福祉の拠点として、戦略的な整備の検討が求められます。

### ～改善活動～

#### (1) 個別支援の整備

準備していたが、大阪府の指導監査で改良の指示があり、今後もシステムの整備に取り組みます。

#### (2) リスク管理体制の強化

メンタル面での対応が必要な職員が増えてきており、採用のあり方から見直しを行った、今後もきめの細かい対応が組織的に求められています。